

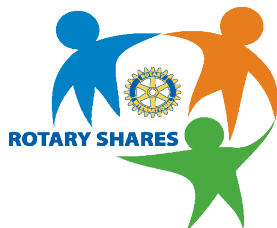
FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会:毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局:藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長: 村松 英昭 副会長: 青島 克郎 幹事: 青島 彰 副幹事: 仲田 廣志

第1754回

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 杉浦 良一君



2007-2008年度 RIテーマ
ロータリーは
分かちあいの心
ウィルアリッドJ.ウィルキンソン



【 富士山 】

写真提供: 青島克郎君

■ 会長報告

村松 英昭君

3月になりました。3月3日はひな祭りでした。皆様のお宅でお雛様を飾られたでしょうか。

人生の四季を考えた時、地球が一公転することに季節は巡る。何度でも巡ってきます。だが、青春、朱夏、白秋、玄冬、人生の四季は1回限りです。人は皆いずれかの季節をいま生きている。

中には若くして逝き、白秋、玄冬を見ずに終わる人生もある。だが吉田松陰は、人は10歳で死んでも。そのひとなりの人生の四季を生きて死ぬのだと言っている。29歳の若さで生涯を終えた松陰自身が、人生の四季を堪能して旅立った人なのだろう。

年齢的にいえば、青春とは30歳くらいまでのことになるだろう。朱夏は30歳から50歳。白秋は50歳から70歳あたりか。玄冬はそれ以降となろう。

人は生まれ、若々しく成長し、そして老い、死ぬ。厳然たる事実である。この事実を事実として受け止め、そのすべての季節をどう生きるか。各人の心の工夫が問われるところである。

青春とは、人生のある期間をいうのではなく、心の様相をいうのだ。優れた創造力、逞しき意思、炎ゆる情熱、怯だを退ける勇猛心、安易を振り捨て、冒険心、こういう様相を青春というのだ。

年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増やすが、情熱を失う時に精神はしぼむ。

皆さん、いつまでも青春を！

■ 理事会報告

青島 彰君

- 3月及び4月のプログラムが承認されました。4月は「冠講座」第1回目が開講されますので日時の変更があります。例会変更の内容は各会員宛 FAXにて連絡します。
- 加藤まさお生誕110年記念コンサート協賛依頼について1万円の協賛とすることで承認されました。
- 成瀬弘明君転勤につき退会されること、元会員の平君の再入会が予定されています。

■ 幹事報告

青島 彰君

- 国際ロータリー第2620地区2010～2011年度ガバナーノミニーが決定致しました。浜松南RC 中山 正邦(なかやま まさくに)君
- ザ・ロータリアン誌3月号が届いています。
- 2008～09年度版ロータリー手帳お買い上げのお願いがロータリーの友事務所より届いています。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会通信が届いています。
- 月信訃報欄訂正のお願いがガバナー事務所より連絡がありました

結婚記念日おめでとうございます！

【江崎君ご夫妻・小西君ご夫人・松葉君ご夫人】



■ 出席報告

松葉 義之君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
22 / 39 56.41%	27 / 38 71.05%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○大塚君 ○小西君 ○酒向君 ○成瀬君
○鈴木廣君 ○村松宏君 ○水野君 飯塚君
板倉君 落合君 鈴木舜君 鈴木晶君 仲田晃君
村松徳君 望月晃君 村松徳君 望月志君 森下君
柳原君

(2)メイクアップ者

北村 幸男君（静岡）

■ スマイルBOX

松葉 義之君

- 誕生祝ありがとうございます。次年度の事を考えると急に年をとりそうです。
夫人誕生祝ありがとうございます。年々元気良くなっている様で押されざみです。青島 克郎君
- 会員誕生・夫人誕生のお祝いありがとうございました。気持ちは若いつもりなのですが、時間は待ってはくれませんね。 池ノ谷 敏正君
- 何才になったかわかりませんが誕生日祝い有難うございました。 石垣 善康君
- 夫人誕生、結婚記念日のお祝いをありがとうご

ざいました。

渡辺 篤司君

- お互いに古希も過ぎお陰様の人生、ガンバリマス。 栗原 毅君
- 結婚30年になりました。 村松 英昭君
- 結婚33年お互いによくがまんしてきました。
ありがとうございました。本日は妻とご招待頂き、ありがとうございました。 松葉 隆夫君
- 結婚記念53年ロータリークラブよりのお祝い
ありがとうございます。 江崎 友次郎君

■ 委員会報告

クラブ広報担当リーダー 石垣 善康君

『ロータリーの友 3月号 概要』

3月は識字率向上月間です。世界の貧困国の子供たちに教育の援助をする、格差を無くしてロに走る子供たちを少しでも少なくする、大きな貢献です。

表紙の写真：オオワシ、天然記念物、猛禽類、その鋭い嘴、肉食です。自然破壊がすすみ、絶滅が危惧されている。

P1 : RI 会長メッセージ 憎しみを目にする子供達は憎しみを学びます。

分かち合いや愛を見て育った子供たちは分かち合いの心や愛を学びます。ガンジの言葉—人というのは仲間の幸福の為に働いているうち、着実に大きくなっていく—

私たちはロータリーの奉仕活動を通じて大きな人物になる機会がある。

P6 : 子供たちに明るい未来を贈る—識字率向上月間活動

甲府城北 RC、単独事業—ラオスに小学校を建設あずみ野 RC、- ミャンマーに僧院学校建設

P18 : 次年度 RI 会長 李 東建氏
韓国ではロータリーは尊敬の念で見られている。それは、クラブが素晴らしい活動をしているから。

P34 : 地区のたより、ホテルを後世に残そ

う、里山こうえんづくり

- くらぶ探訪、八戸東ロータリークラブ

和やかな雰囲気、八戸を愛する会員、93歳の創立会員も皆出席

- 友愛の広場、101歳で現役バリバリ

■ 会員卓話

山田 昭雄君

『回想：商店街活性化に取り組んで』

全国各地で大型店と小売店の対立が続いている中、藤枝市内の小売店二千店舗でつくる同市商店街連合会（徳



浪栄一会長）では大型店対策として九月一日から市と金融機関と一体となって全市的なシール事業をスタートさせる。大型店の進出にやみくもに反対するのではなく、小売店自ら一致団結して消費者の“地元買い”を促進するようなサービスを展開していくのが狙いで、これまで通りシールを集めて商品と換えられるほか銀行内の口座を使ってシールによる“預金”もできるという全国でも初の試み。大型店以外の小売店を“横のデパート”としたこのユニークな商法、大型店対策の切り札となるかどうか注目される。

「事業の成否は小売店のやる気次第。真に大型店と対抗して、逆に利用してやるくらいの気概がなければ成功はおぼつかない。ここで立ち上がらなければ市内二千店舗のうち半数は十年もつかどうか危ないと断言してもいい」



「難関の一つは既存シールとの調整。もう一つは銀行の説得。しかし何度も足を運ぶうちにこちらの趣旨も理解されてようやく了解が取れた」

「何ととってもシールによって買える品物が豊富なこと。そして銀行に預けて現金化した上で預金ができる点。小口の貯金にはもってこいで、市でも消費生活向上につながるとしてバックアップを約束してくれた」



藤枝市の鳥「ウグイス」と市章をあしらった市章連のシール

（担当／北村）